

砂川市認知症ケア向上推進事業

申込み不要

参加無料

第19回 市民健康フォーラム

「老いとぼけの世界」 —認知症の受け止め方について—

日本は今や世界一ともいわれる超高齢社会。老後の介護をどうすべきか、本人や家族にとって切実な問題です。しかし、介護の仕事は敬遠されがち。そんな中、私たちの先入観を打ち破り、介護の「深み」を伝え続けている村瀬孝生さん。

老いるとはどういうことか、介護することで何が見えてくるのかをお話していただきます。

令和7年8月9日(土)

13:30~15:00

砂川市地域交流センターゆう

砂川市東3条北2丁目3-3

(JR砂川駅直結) ☎54-3111



村瀬孝生さん

主催 NPO法人中空知地域で認知症を支える会
共催 砂川市立病院 認知症疾患医療センター

※認知症ケア専門士1単位付与 ※すながわ健康ポイント付与(会場で受け取ります)

お問い合わせ

砂川市立病院 認知症疾患医療センター TEL: 0125-54-2131

福岡県飯塚市出身。東北福祉大学卒業。1988年、特別養護老人ホーム生活指導員。1996年に第2宅老所よりあい所長、2013年に宅老所よりあい代表。2015年よりあいの森施設長、2022年退任。現在はよりあい統括所長、社会福祉法人福岡ひかり福祉会理事。著書に『おばあちゃんが、ぼけた』『看取りケアの作法』『シンクロと自由』『ぼけと利他』等がある。

